

平成 20 年度 第 3 回地域包括支援センター及び介護予防評価専門委員会 会議要旨

1 開催日時

平成 20 年 10 月 29 日（水）18:00～20:00

2 開催場所

市庁舎 9 階 92 会議室
（北九州市小倉北区城内 1 - 1）

3 出席者等

（1）委員

橋元委員長、中村副委員長、一広委員、伊藤委員、富安委員
オブザーバーとして、尾籠委員、田中委員、吉田委員 委員計 8 名

（2）事務局

いのちをつなぐネットワーク推進課長、介護保険課長、健康推進課長ほか

4 会議内容

（1）議題

- ア 被保険者・要介護認定者数の見込みについて
- イ 第 4 期の地域支援事業等について
- ウ 介護予防事業の今後の運営について
- エ 地域包括支援センターの今後の運営について

（2）報告事項

5 議事の概要

（1）議題

- ア 被保険者・要介護認定者数の見込みについて
第 4 期介護保険事業計画期間中の第 1 号被保険者（高齢者人口）及び要介護認定者の見込みについて報告を受けた。
- イ 第 4 期の地域支援事業等について
地域支援事業の第 3 期における実施状況と第 4 期計画の実施方針などについて報告を受けた。
- ウ 介護予防事業の今後の運営について
第 4 期介護保険事業計画期間中における介護予防事業の運営について報告を受けた。
- エ 地域包括支援センターの今後の運営について
第 4 期介護保険事業計画期間中における地域包括支援センターの運営体制について報告を受けた。

（委員意見）

- ・運営方式を「直営」とすることについて、その前提として、直営のメリット・デメリットをしっかりと把握しておかないといけない。
地域のネットワークづくりと直営の成果はこれから出てくるもので、今、運営方式

を変更するのは時期尚早だろう。

- ・日常生活圏域について、圏域ごとに、相談件数やケアプラン作成件数等に多少の差はあるが、24地域包括支援センターが市民に浸透していることから、現行のままでもよい。
- ・地域包括支援センターの設置数、設置場所、施設設備について、職員が市民サービスにより力を入れることができるよう、備品を含め施設整備に努めてもらいたい。
- ・人員体制について、必要な人員の手配（増員）を行ってもらいたい。
出向嘱託職員の入れ替えもあるが、引き続き職員の資質向上、および3職種のチーム力の質の向上を図ってもらいたい。